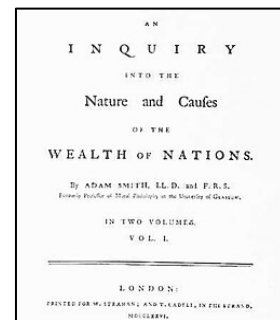


経済、エコノミー概念の創造的変化

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ジェームズ・ステュアート> (経済学者)



<https://szu-tokyo.jp/2024/07/29/economy/>

https://note.com/butai_biz/n/n1f3edc66b763

<https://www.tdb.co.jp/report/economic/20241024shinise2024/>

ピーター・ドラッカーは『マネジメント』を書くときに大いに参考にしたのが日本の老舗企業だったと言われます。日本の社会、経済の底流にあるのは外来文化を取り入れ、日本の実情に合わせて加工、変形しているメンタリティ・精神構造にあるのかも知れません。最近、日本へ年間2千万人を越えるインバウンド外国人がやって来ますが、彼らのほとんどは日本の表層的なことに関心があっても、なかなか深層までは見ていない、見る事ができていないように思います。日本に長年住み、日本語を理解する少数の人達だけが日本の深層をたどり着いているように思います。日本人だからといって、皆が均等に深層にたどりついているわけでもなさそうです。私自身、深層があることに気付いただけで、まだ日本の精神構造の深層についてわからないこと、知らないことばかりです。

– 1/1 –